

外感病と内傷病の処置方法

(中華伝承医学会大橋先生伝)

一、外感病の処置方法

(1).外感六淫:

「風・寒・暑・湿・燥・火」は、正常な場合には天地の六気であり、人を養うものである。しかし、過度となったり、季節の気候に合わなくなったりすると天地の六淫となり、疾病を引き起こす。

脈診法: 外感風寒の患者(傷寒)に対して、三指で総按し、すなわち寸・関・尺を同時に按じて脈診する。

(2).脈診実技:

① 左人迎 > 右気口

今日はさらに、全体の脈象に基づいて配穴する方法、「背俞穴+栄穴」を紹介する。『内経』曰く「栄輸は外経を治す」。

② 三指総按、すなわち寸・関・尺を同時に按ずる:

(3). 風寒病と温病の配穴法:

(一) 風寒病

脈象	配する背俞穴	配する栄穴	刺法
1 毛脈	肺俞 ⊥	魚際 → 直刺、不補不瀉	
2 鉤脈	心俞 ⊥	劳宮 → 直刺、不補不瀉 (または少府)	
3 弦脈	肝俞 ⊥	行間 → 直刺、不補不瀉	
4 緩脈	脾俞 ⊥	大都 → 直刺、不補不瀉	
5 沉脈	腎俞 ⊥	然谷 → 直刺、不補不瀉	

(二) 温病

1 滑脈 (湿熱邪)	胃俞 T	内庭 → 直刺、不補不瀉
2 濇脈 (燥邪)	大腸俞 T	二間 → 直刺、不補不瀉
3 洪脈 (暑邪)	小腸俞 T	前谷 → 直刺、不補不瀉

★【温病: 外界からの「温熱の邪氣」を受けることによって引き起こされる急性発熱性疾患。】

二、内生五実邪の処理 (内傷雑病の実邪)

人体前面の具体的な部位を圧して圧痛を確認し、五邪を調整する方法を一つ紹介する。

(1). 下気口 > 上人迎、または右気口 > 左人迎のとき:

(2).切診: 按压 → 圧痛あり (実邪)

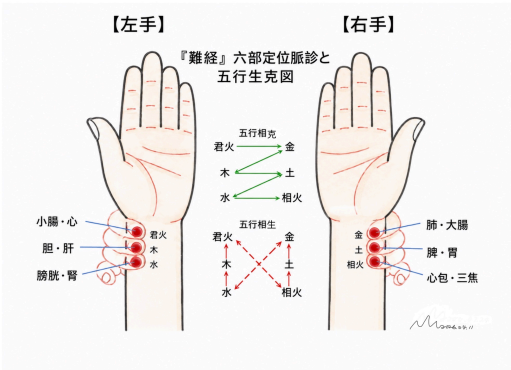
病性	瀉穴	補穴	
① 前胸	南方心火 / 熱邪	火穴	水穴 (例として: 火経の火穴、水経の水穴)
② 脇肋	西方肺金 / 燥邪	金穴	火穴
③ 腹中	中央脾土 / 湿邪	土穴	木穴
④ 小腹	北方腎水 / 寒邪	水穴	土穴
⑤ 少腹	東方肝木 / 風邪	木穴	金穴

氣血を調和し、経絡を疏通する。標治法。

(3). 脈診と圧痛の変化で検証する。

六部定位脈診図

①『難経』六部定位脈診図と五行生克图



②『難経』六部定位脈診図と気の六大機能图



③《難経》脈診模式図

